

令和8年

奥能登林業労働災害防止取組強化月間

見て、聞いて！

合図・退避・仲間の調子
互いに声掛け守る命

令和8年3月16日(月)～4月15日(水)

特別重点期間: 3月23日(月)～4月5日(日)



主唱：穴水労働基準監督署

後援：林業・木材製造業労働災害防止協会 石川県支部 穴水分会



奥能登で林業に従事される皆様へ

奥能登林業労働災害防止取組強化月間は、平成28年から開始され、今年で10年目を迎えました。

初心を忘れるべからず、第1回強化月間のスローガンを振り返ったところ、キーワードは「合図」と「退避」でした。

当時、残念ながら伐木の作業中に亡くなられる災害が多発していました。

このため、林業従事者に災害を防ぐ術として、最低限確実に守っていただく作業規範として掲げたものでした。

合図は、林業の現場では、周りに危険を知らせることにつきます。

かつて、合図なしに伐倒を行ったため、それに気づかず、周りにいた同僚が伐倒木の下敷きになる災害がありました。

自分の行動によって仲間たちを災害に巻き込んでしまうのは居た堪れないことです。

まずは、周囲に人がいないことを確認し、自分の行動によって、仲間たちの安全を確保することで、災害に巻き込まないことが肝心です。

その次が自分自身の身を守る番です。退避しなかったゆえに倒木が跳ね返り、ぶつかって被災する災害も多々ありました。

木が倒れ始めたなら、あらかじめ定めておいた場所に退避し、自身の身の安全を確保することも非常に大切です。

『周りよし、自分よし、伐木よし』が揃って初めて完璧なミッションの達成です。今年のスローガンでは「互いの声掛け」を取り上げました。

声掛けは、仲間の調子を測るのに最適でヒューマンエラーの防止にも役立ちますので、ぜひ取り組んで下さい。

特別な技術や知識はいりませんし、コストゼロで簡単に実施できます。

近年は、法改正も進み、林業機械の導入、道具や保護具の進化に共い、災害を防止するための作業環境は随分整ってきました。

しかしながら、林業の現場では、必ずしも他人の目があるわけではありません。だからこそ、最後は林業従事者ひとりひとりの心がけ、自覚にかかっていると

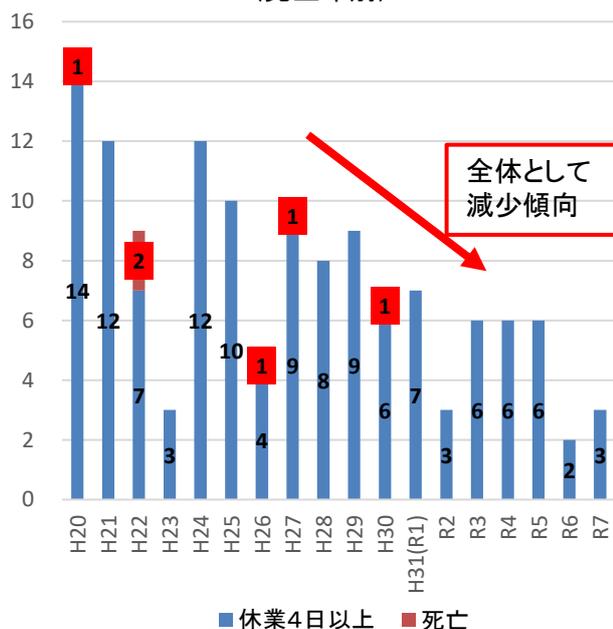
言えます。

これからも奥能登地域の復興、発展のため、林業事業者及び作業従事者の皆さまには、労働災害の防止にご尽力を賜りますようお願いいたします。

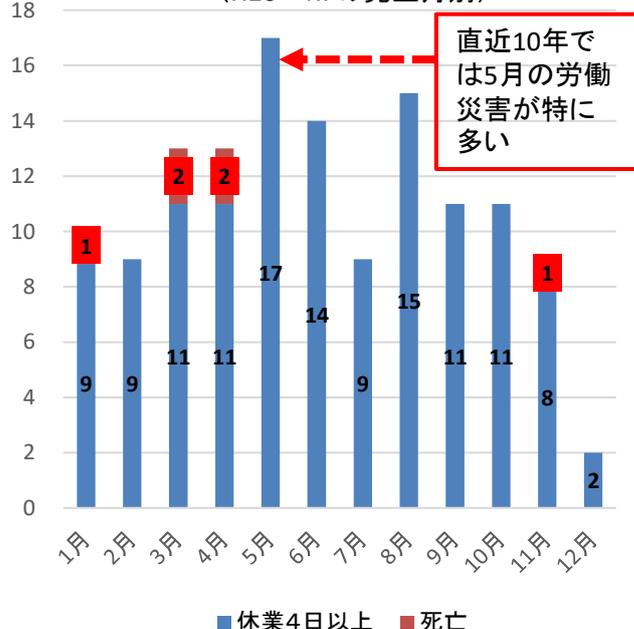
令和8年3月13日

穴水労働基準監督署長 春日 俊

奥能登林業災害発生状況 (発生年別)



奥能登林業災害発生状況 (H20～R7の発生月別)



厚生労働省では法令改正、各種ガイドライン等、伐木作業・林業における安全対策に関する情報を発信しています。



伐木等作業安全対策推進事業【厚生労働省委託事業】チェーンソーを用いた伐木等作業に係る安全作業のためのマニュアル (令和7年度委託者(株)リアライズ)

